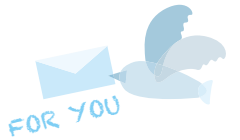


幼少期に震度7の三河地震を体験し、青年期に小松左京の日本沈没を読み恐れた。昨今の南から北への自然災害は中部地方にも迫ってきている。寿命が100歳まで伸びるだろうと言われて出し、年金、介護、医療をどうするのだと羨しい。80歳となった当事者の私は20年先のことは考えようもないが、災害の恐ろしさや、介護の世話にならない様に、朽木の枯れるように衰え終末を迎えられたらと、2人の友を送り、寂しく残りの時間を考えた1年でした。  
(名華文)

今年はメディア報道のあり方に嫌気を強く感じた。メディアリテラシーを再考させる報道にうんざり。自然災害も多発。被害に遇われた方には心よりお見舞い申し上げます。大自然を相手に小さな人間が想定するなんぞ所詮無理な事だと痛感。日頃から備えるのは整備や物資ではなく「人間力」だと確信した年でありました。  
(すみちゃん)

パワハラ、セクハラ始め何十種類もあると知ったハラスメント。加害者と被害者の想いの違いに困惑した。自然災害のように変えられないものと、意識で変えられるものを区別し、対処を考えさせられる事象が多かった2018年です。  
(しば)



No.36

△ハモン博士のまとめ

成年は災害が多いという諸説があるようじゃ。また、成年の成の字は「滅」に繋がるが、それは滅びや朽ちるという意味ではなく、「新しい命を守る」という意味があるようじゃ。災害も、いろいろじゃ。天災を防ぐことは難しいが、人災は防ぐことはできる。この一年、わが身や周りの出来事を振り返り、防ぐべきことを防ぎ、守るべきものを守れたか、反省することも新たな年を迎えるため必要な準備じゃな。



問合せ先

おおくち男女共同参画懇話会 (地域協働課)  
☎ 95-1691

今年はずいぶん年長さん。保育園での行事のたびに「これで最後か…」と感慨にふけていた。これで最後ということ、次のステージに進むということ。来年は小学生となる息子を応援しつつ、自分にも次のステージに進む「これで最後」が何かないかと探し続け、撃沈した1年でした。  
(俺)

今年はずいぶん年長さん。保育園での行事のたびに「これで最後か…」と感慨にふけていた。これで最後ということ、次のステージに進むということ。来年は小学生となる息子を応援しつつ、自分にも次のステージに進む「これで最後」が何かないかと探し続け、撃沈した1年でした。  
(チャーミー)

Be Ambitious vol.293

町内にお住まいの  
20代の皆さんがリレーで登場!

陸上は人生の一部

祖父江 巧さん(豊田) H10・2・12生



陸上一筋

中学から陸上を始め、強豪校に進学した現在も陸上に全力投球です。尊敬する先輩と一緒に練習がしたくて、高校も大学も同じ学校に。中学では200mが専門でしたが、高校で400mを計測してみたらよい結果が出たため、以来ずっと400mが専門です。400mは短距離走ながら、スピードと持久力の両方を求められ、レース後半では乳酸がたまってとてもきつい。ですが、きつい練習もとても楽しいです。勝負めしのうどんといなり寿司で、通算8回全国大会に出場しました。

思い出のレース

高校では顧問の先生にもチームメイトにも恵まれました

高校生活は陸上に打ち込みすぎ、勉強面では数学の担当だった顧問の先生と、一緒に通学していた優秀な親友に随分助けてもらいました。今も感謝しています(笑)。



▲9月、全日本インカレ(川崎市等々力競技場)